

戸手交流館

だより



第 7 号

2023年(令和5年)10月2日発行

戸手交流館

Tel: 0847-52-5539

✉ tode-krk@city.

fukuyama.hiroshima.jp



戸手学区まちづくり推進委員会よりお知らせ

第1回戸手学区ふれあい発表会

コロナ禍において、長い間、地域の皆さんが一堂に集い交流を深める場を設けることができませんでした。そこでこの度、地域の皆さんが日頃のサークル活動等で練習されている成果を発表する場を設け、活動の活性化を後押しするとともに、地域住民の交流の輪を広げることを目的として、「ふれあい発表会」を次のとおり開催します。

開催日 **11月23日 木曜日 (祝日)**

時間 **10時00分～15時00分 (終了予定)**

会場 **戸手小学校体育館**

現在ふれあい発表会実行委員会において、役員会を開催し、手づくりで、どうすれば地域の皆さんが楽しむことができるかなどいろいろ検討中です！

詳しい内容につきましては、11月初旬に地域回覧にてお知らせをしますので、どうぞ楽しみに??

キッチンカーが
やって来る！！

みんなで行こう！



フレイルチェック会

フレイルチェック会では、運動や口腔機能などに関する質問票への回答や手足の筋肉量などの測定を行い、フレイルの状態（加齢に伴い筋力や心身の活力が低下すること）を確認します。

- と き **11月2日（木）** 10:00～12:00 13:30～15:30
- と ころ 新市交流館新市コミュニティセンター
- 対 象 おおむね 65 歳以上の市民
- 定 員 先着各 15 人（予約が必要です）
- 持参物 **上履き**，飲み物，動きやすい服装（裸足で測定する項目があるため，裾を膝まであげられるズボン・くつ下などでご参加ください。）
屋内シューズ



<申込先> 健康推進課（10/16 から受付）
電話：084-928-3421

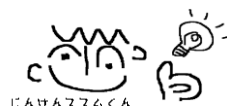
結果をタブレットで
分かりやすく表示



ふくやま人権大学2023

人権・平和ゼミコース

若い世代による平和メッセージ



10月 7日（土） 「あの日の記憶を風化させない！」

発表 広島市立基町高等学校美術部OG，ふくやまピースラボ，元高校生平和大使

10月21日（土） 「現在（いま）を見つめる！」

発表 盈進中学高等学校ヒューマンライツ部

10月28日（土） 「願いを結集し，平和な未来を紡ぐ！」

発表 高橋 悠太さん（核廃絶ネゴシエーター，一般社団法人かたわら代表理事）

- 会場 福山市役所本庁舎 3階 大会議室（福山市東桜町3番5号）
- 時間 いずれも 13時30分～15時
- 定員 50人
- 申込，問合せ 多様性社会推進課

TEL 084-928-1006 FAX 084-928-1229

申込QRコード→



次回の移動図書館 のぞみ号

10月16日（月） 時間はともに

11月15日（水） 11時10分～11時50分

場 所 戸手交流館駐車場

ご長寿おめでとうございます！

戸手小学校の児童から、敬老行事に寄せてお祝いや感謝のメッセージが届きました。

戸手交流館ホールに9月8日から22日まで掲出しました。カラーでお届けできないのが残念ですが、児童からの温かい気持ちがたくさん伝わってきました。

ありがとうございました。



北部市民フェスティバル2023

～新市町ってどんなところ？おとなも子どもも楽しめるフェスティバル～

《とき》 11月5日(日) 10時～15時 ※雨天の場合でも一部変更して実施いたします

《ところ》 メインイベント会場：新市交流館新市コミュニティセンター
(福山市新市町新市 1022)

展示会場：新市交流館(福山市新市町新市 820-3)

ドローン体験：新市小学校体育館 ※スタート 10:30～
(福山市新市町新市 852)

《駐車場》 新市支所・新市小学校 ほか

《オープニング》 10時～ 「YOSAKOI 踊り(備後しんいち踊り隊)」

《イベント》 おばけやしき、かんたん工作、おもちゃびょういん など

《展示》 各学区・地域の協働のまちづくり活動、交流館活動、人権啓発、
福山ブランド紹介 など

《模擬店》 カレー、手打ちそば、野菜の販売、ポップコーン、わたがし体験 ほか

《ドローン体験》 室内でのドローン体験会「おかし釣り」 ※体験料500円

★定員：20組 ※先着順(要申込)

★申込開始：10月20日(金) 9:00～

【申込方法】 電話で北部地域振興課(084-976-9460)まで

主催：北部市民フェスティバル実行委員会
問合せ：〈事務局〉北部地域振興課 TEL(084) 976-9460



「ダニ」にご注意ください

山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう

春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

野山に生息するダニに咬まれることで

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント！

- **肌の露出を少なくする**
⇒ 帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等
- **長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する**
⇒ シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中
- **足を完全に覆う靴を履く**
⇒ サンドル等は避ける
- **明るい色の服を着る**（マダニを目視で確認しやすくするため）
 - * 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう
 - * 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう

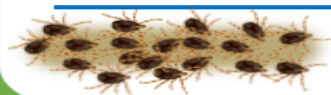
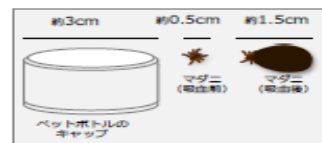


ダニに咬まれたときの対処法

- **無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置**（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた後、**数週間程度は体調の変化に注意**をし、発熱等の症状が認められた場合は**医療機関で診察**を受けて下さい。

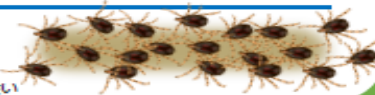
【受診時に医師に伝えること】

①野外活動の日付け、②場所、③発症前の行動



ダニ媒介感染症（厚生労働省）

各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にして下さい



平成29年4月

マダニに刺された場合

【広島県 HP 参照】

マダニ類の多くは、ヒトや動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間（数日から、長いものは10日間以上）吸血しますが、刺されたことに気がつかない場合も多いと言われています。吸血中のマダニに気が付いた際、無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させてしまったりするおそれがあるので、医療機関（皮膚科）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらってください。

また、マダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

《症状》

マダニ類に咬まれて2～8日の潜伏期間後、頭痛、発熱を伴って、急激に高熱（38～40℃）がでます。高熱の後にやや遅れて、全身に米粒大から小豆大の紅斑が出現します。ただし、かゆみや痛みが無いのが特徴です。

なお、悪化すると臓器障害や意識障害などを引き起こすことがあるため、早期に治療を開始することが重要です。